

遺伝子を知る、患者を支える がん診療における遺伝子・ゲノムの理解と遺伝カウンセリング

総合医学研究センター主催
第33回 医療講演会
～最前線の診療～
ハイブリッド開催

2026
9/24 木
17:30～18:30

呼吸器センター 5階大会議室



関西医科大学附属病院
臨床遺伝センター 助教
認定遺伝カウンセラー
佐藤 智佳 先生

講演内容

近年のがん診療では、がんゲノム医療や遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）をはじめとする遺伝性腫瘍など、「遺伝子」や「ゲノム」が重要なキーワードとなっている。しかし、遺伝子の変化には、がん細胞で後天的に生じた変化と、生まれつき受け継いだ変化があり、その臨床的意義は異なる。そのため、患者への説明や意思決定支援においては、両者の違いを十分に理解することが重要である。さらに、遺伝性腫瘍では患者本人だけでなく血縁者への対応も重要となり、その中心的な役割を担うのが遺伝カウンセリングである。

申込方法

二次元コード又はURLよりお申込みください。

URL : <https://forms.gle/nTQUumdHoLfshiNN9>

